

発行所
長野県保険医協会
〒380-0928長野市若里1丁目-5-26
電話 026 (226) 0086
FAX 026 (226) 8698
E-mail nagano-hok@doc-net.or.jp
年間購読料 3,600円 (会員の購読料は会費に含まれています)



2017年(平成28年)7月25日
No.437 (毎月1回25日発行)
(1990年6月22日第三種郵便物認可)
主な記事
相談内容、発言通告・執行部答弁…2面、歯科個別指摘事項⑥…3面、保険かわら版、共済だより、理事会だより…4面、協同組合ニュース…5～6面

第三回保団連代議員会

発言通告137通

6月25日、東京の都市センターホテルにて16・17年度第3回保団連代議員会が行われた。各協会・医会の代議員、理事会役員、事務局ら287人が参加、長野協会からは野口副会長(代議員)、林常任理事(代議員代理)、奥山常任理事(オブザーバー)、三田常任理事(保団連参与)、市川副会長(保団連理事)の5名と事務局から1名が参加した。冒頭の住江会長の挨拶では、安倍政権による常軌を逸する政治運営や国政の私物化、共謀罪法案について糾弾。更に社会保障改悪

について「これ以上の搾取を許さず怒りを共有し、その怒りを国民的合意形成にもっていく必要がある」と訴えた。代議員会では①会務報告、②16年度決算報告・監査報告③18年度診療報酬・介護報酬改定要求、④保団連次期役員定数、⑤保団連役員辞任と補充選任の5つの議事が採択された。討論では全体で137通の発言通告があり、長野協会からは医療運動について1通、野口代議員から口頭発言があり、他は診療報酬改善について2通、政策について1通、特養あずみの里裁判に関して1通文書での発言通告が出された。また、地方での在宅医療に関して野口副会長よりフロア発言も出された。あずみの里裁判に関する発言通



代議員、理事会役員、事務局併せ287人が参加

告では支援を呼びかけ、保団連からも協力をすすめていきたいとの答弁があった。当日配布した署名用紙にも多数の協力が得られ、後日代議員会の参加者より164筆の署名が集まった。討論の後は住江会長より、熱い思いを持った全国の代議員の皆さんの出席と137通の発言通告、そして22通のフロア発言があり、旺盛活発な議論となり大きく成功した代議員会になった。夏以降の運動も前進させましようまとめた。

最後に三浦副会長より、協会、医会から幅広い様々な問題について発言、提案、意見をいただいた。今我々を取り巻く社会状況は社会保障の後退、貧困と格差の増大、平和主義などが無いがしろになる傾向に押し流されかねない状況にあると思う。私達はこの状況にしっかりと目を見開いて、心の底から腹を立てて、そしてそれをエネルギーにしてこの状況に逆らっていく運動をせねばならない。今日の議論を各協会、医会に持ち帰りまた明日から頑張らましようとし、閉会の挨拶とした。長野協会からの発言通告と、執行部答弁については本紙2面にて紹介しているので参照されたい。

保険でより良い歯科医療を 歯のなんでも電話相談

歯のなんでも電話相談に13件
保険でより良い歯科医療を長野連絡会主催の「歯のなんでも電話相談」が6月18日(日)、10:00から14:00まで3回線を実施された。地域新聞(無料配布新聞含む)の紹介記事を見て、県下全域から13件(北信4、中信4、東信3、南信2)の相談があった。相談者の年齢は30代～90代と、幅広い世代が歯に関する悩みを抱えていることがうかがえる。相談を担当したのは連絡会の構成団体の県保険医協会の歯科医師5名(役員4名、歯科部員1名)。今回は欠損補綴に関する相談が多くみられた。また、歯科医院を紹介してほしいとする相談も数件あったが、これまで特定の医療機関は紹介しなかった経緯があり、今回も見送った。相談件数は例年より少なかったが、相談員が交替しな

がら1件ごとに対応し、相談者の多くはおおむね満足の様子だった。電話相談事業は今後も続ける見通し。本紙2面で相談事例について紹介しているので参照されたい。



電話相談を行う協会役員と歯科部員

原稿募集
医療・社会保障全般、時局での論評や意見、学会報告、書評、趣味、写真など幅広く原稿を募集中!★原稿等は1面「題字」左の本紙発行元まで各種通信手段で。掲載分については図書カード2千円分を贈呈。

「公費負担医療の手引」発刊

全国で実施されているすべての公費負担医療制度を解説した、「公費負担医療等の手引」2017年8月版が出版されます(2年に1回発行)。本書は公費負担医療制度以外にも各種医療保険制度や、労災医療、公害医療、交通事故・災害等の医療制度なども幅広く収録しています。



会員価格: 2,800円(定価: 4,000円)税・送料込
※医科開業医会員はお申し出があれば1冊無料

また、「公費負担医療の手引」を使用して説明会を開催します。日程は下記の通り参加資格は協会会員医療機関の医師・事務担当者。参加費は無料となっています。事前申込が必要なので、書籍の注文と併せて本紙同封の申込書又は電話にてお申し込みください。

【時間】19:00～21:00 各会場共通

会場	開催日	場所
松本会場	9/12(火)	松本市中央公民館(Mウイング) 3F
上田会場	9/13(水)	上田市勤労者福祉センター 2F
飯田会場	9/19(火)	飯田文化会館 1F
長野会場	9/20(水)	長野市生涯学習センター(トイゴ) 4F

超高齢化社会に於いては、医療費の高騰の他に、終末期医療の問題が課題となります。高齢者が安全で安心して暮らせる仕組みを作り、そのための医療・介護にたずさわる人材育成、健康寿命延伸のための健康づくり、疾病予防が課題です。◆地域包括ケアを推進し、使わなくてもよい医療費を削減できる一つの提案として「アドバンスケアプランニング」という考え方があります。患者が治療を受けながら、将来も自分に意思決定能力がなくなっても、自分が語ったことや、書き残したもののから自分の意思が尊重され、医療スタッフや家族が、自分にとって最善の医療を選択してくれるだろうと患者が思えるようなケアを提供することを言います。県内にもすでにホームページに事前指示書を掲載し、会員に提供している医師会もあります。自治体のホームページに事前指示書の標準フォームが掲載され、それによる意志表示を、医療機関・介護施設・在宅医療の多職種・救急隊・警察・市民皆が最大限尊重してお世話するといった文化を創れば良いのではないのでしょうか。◆チューブや機械につながれて、なお辛い闘病を強いられ、「回復の見込みがないのなら、安らかにその時を迎えたい」と思っている方々も多数いらっしゃると思います。「平穏死」「自然死」を望む方々が、自分の意思を元気なうちに記しておく。それがリビング・ウィルです。リビング・ウィルによってなされた意志表示が尊重され、尊厳のある看取りがなされる社会に、成長する時期が来ているのではないのでしょうか。(T・H)

鶏声

超高齢化社会に於いては、医療費の高騰の他に、終末期医療の問題が課題となります。高齢者が安全で安心して暮らせる仕組みを作り、そのための医療・介護にたずさわる人材育成、健康寿命延伸のための健康づくり、疾病予防が課題です。◆地域包括ケアを推進し、使わなくてもよい医療費を削減できる一つの提案として「アドバンスケアプランニング」という考え方があります。患者が治療を受けながら、将来も自分に意思決定能力がなくなっても、自分が語ったことや、書き残したもののから自分の意思が尊重され、医療スタッフや家族が、自分にとって最善の医療を選択してくれるだろうと患者が思えるようなケアを提供することを言います。県内にもすでにホームページに事前指示書を掲載し、会員に提供している医師会もあります。自治体のホームページに事前指示書の標準フォームが掲載され、それによる意志表示を、医療機関・介護施設・在宅医療の多職種・救急隊・警察・市民皆が最大限尊重してお世話するといった文化を創れば良いのではないのでしょうか。◆チューブや機械につながれて、なお辛い闘病を強いられ、「回復の見込みがないのなら、安らかにその時を迎えたい」と思っている方々も多数いらっしゃると思います。「平穏死」「自然死」を望む方々が、自分の意思を元気なうちに記しておく。それがリビング・ウィルです。リビング・ウィルによってなされた意志表示が尊重され、尊厳のある看取りがなされる社会に、成長する時期が来ているのではないのでしょうか。(T・H)